

ISBN978-4-901710-21-3
C2036 ¥1300E

本体価格 1,300円

これで作れる 実践的 SDGs 統合評価

経営者、CSR/SDGs品質・環境推進者～学生のための

これで出来る
実践的SDGs統合評価

日本CSR協会 監修

ISO26000(規範)の社会的責任
企業CSR/ESG/SDGs
自治体CSR/大学CSR
ISO9001品質
ISO14001環境
おもてなし規格認証
地方創生SDGs
各種マネジメントシステムなどの審査/監査時に併行してSDGs評価

SDGs取組宣言からの脱皮！
【持続可能な目標値・数値でKPI形成等/目標達成の進捗管理】
【フォローアップとレビューの推進】

●国連の持続可能な開発目標SDGsは、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」により、2015年9月25日第70回国連総会で採択された。

2019年頃から、企業はSDGs取組をメディア、雑誌広告欄、HPなどに宣言し、社内外にSDGsを推進していることを強調してきた。

本書では、SDGs推進が経営面に貢献するために、SDGs取組宣言から脱皮し、定量的目標管理導入方法及びその効果を紹介する。

●更に、ISO9001品質/ISO14001環境/経産省創設「おもてなし規格認証」等の審査や監査時に、併行してSDGsの関連目標の実施状況を評価し、定量的目標管理による成熟度レベルを把握する方法、そのSDGs成熟度レベル評価登録証の発行方法を紹介する。

ISBN978-4-901710-20-4
C2036 ¥1300E

本体価格 1,300円

これで出来る！
経産省創設
「おもてなし規格認証」
の効果的な活用

経営者、おもてなし規格取得推進者、地方創生推進者のための

これで出来る！
経産省創設
「おもてなし規格認証」
の効果的な活用

日本CSR協会 監修

サービス業務
マネジメントの
見える化

観光業、宿泊業、飲食業、小売業、卸業、製造業、生活関連サービス業、建設業、不動産・サービス業、金融・福祉、運輸業、情報通信業、電気・ガス・熱供給・水道業、サービス業(分業なし)、不動産業、不動産賃貸業、不動産売買業

お客様から感謝・共感を得られる地域特長・事業特長を活かした
新たなおもてなしを創作することで、地域活性化を推進できる。

●経済産業省が「おもてなし規格認証制度」を創設してから約2年が経過した。

本規格は、接客・接客を基本とした飲食・宿泊・小売業界だけでなく全業界（製造・IT・建設・不動産・サービス業等）向けのサービス生産性向上を目的とした規格で、経営への貢献を目指している。

●本制度の仕組みへの理解を深め、「おもてなし規格認証制度」の効果的な活用を、この認証取得活動を通じてどのように展開すれば良いか、また、現在の仕組みの改善のヒントや全業界の特質を捉えた企業の「おもてなし規格認証制度」の効果的な活用を、わかりやすく紹介する。

更に、「地方創生」の視点から地域の活性化のためにおもてなし規格認証制度をどのように展開すればよいかを地方自治体での取組事例により紹介する。

ISBN978-4-901710-14-5
G2034 ¥3600E

本体価格 3,600円

ISO26000対応
サプライチェーン
CSR実践ガイド

和英対訳版 Japanese-English translation

経営者/購買部門、CSR部門、ISO部門のための

ISO26000対応
「サプライチェーン
CSR実践ガイド」

日本CSR協会 編著

～価格と語る全体像の見える化～
【ISO26000中核課題に対する説明事項】
【CSRマネジメントマニュアル事例】
【中堅・中小企業向けCSR行動管理表（35頁）事例】

●2010年11月1日にISO26000社会的責任ガイドランスが発行されました。このガイドランスは、大変多い100頁であり、図表も少ないので、CSR推進者には、少し難しい内容と思われます。

本書には、筆者らが作成したISO26000の全体像を見える化した“CSRマネジメントプロセス”が含まれています。このプロセスは、ST（ステップ）1～6に分けてPDCAサイクルの図表により、わかりやすく具体的に説明されています。

●また、サプライチェーンCSRを推進する供給業者である中堅・中小企業にとって適切で、使い易いISO26000の中核課題を21に、設問も71に絞ったCSR行動管理表（設問）の事例並びにCSRマネジメントプロセスを運用するマニュアルの事例を紹介しています。

●また、グローバル展開を図られる企業が、進出国から信頼を得られるようなCSR推進の展開を容易にするために、和英対訳版としました。

経営者層、CSR部門、ISO部門、購買部門のための

ISBN978-4-901710-13-8
C2534 ¥1800E

本体価格1,800円

CSR
ケーススタディ
実践ガイド
(ISO26000対応)

CSRケーススタディ実践ガイド

CSRケーススタディ実践ガイド
(ISO26000対応)

日本CSR協会 編著

第1章 CSRとは
第2章 CSR推進
第3章 CSR推進のポイント
第4章 CSR推進及びCSR成熟度向上の効果

CSRとは、事業活動で発生する社会へのマイナス影響を抑制し、社会期向変化により生じる社会問題を解決する付加価値型製品・サービスを提供し、持続可能な社会に貢献することです。

イー・キュー・マネジメント技研

●企業のCSR推進部門は、本業で必須な品質領域に関しては、当たり前領域としてあまり触れないで、環境や社会貢献領域に重点を置いたステークホルダーへの活動を紹介するCSR報告書を公開してきました。CSR推進がCSR報告書作成のためにあるという暗黙の了解で、活動自体の形骸化が、進んでいるように見えます。CSRの意味合いを理解するために中堅中小企業のCSR推進部門を含めた全従業員のCSRへの対応に関する認識を高める必要があります。

●本書は、この打開策のひとつとして、CSRケーススタディから抽出されたCSR課題を、2010年11月1日に発行されたISO26000社会的責任ガイドンスの中核課題で推奨される行動に対する設問のどこに関係するかを考えて、CSR課題抽出及び対応策について参考回答事例も引用して、実践的に学習していただくために編集しました。

これで出来る
CSR調達対応！

経営者層向け
CSR実践ガイド

～骨格となる
【CSRマネジメントマニュアル事例】
【CSR行動管理表事例】
で全体像が見える！～

日本CSR協会 編著

ISBN978-4-901710-11-4
C3034 ¥900E

本体価格900円

経営者層向け
CSR実践
ガイド

CSRとは事業活動で発生する社会へのマイナス影響を抑制し、社会期向変化により生じる社会問題を解決する付加価値型製品・サービスを提供し、持続可能な社会に貢献することです。

イー・キュー・マネジメント技研

第一章 CSRとは
第二章 CSR調達
第三章 CSR調達先の対応
第四章 ISO26000検証システム事例の紹介
第五章 CSR評価結果の見える化
第六章 CSR評価(成熟度)向上の効果
第七章 不祥発生事例から考える

さまざまな社会問題の解決、ステークホルダーへの対応に関する企業の社会的責任CSRは、持続的社會を支援するために幅広く求められています。社会問題では、地球温暖化、少子高齢化、世界的人口増、福祉社会、途上国の貧困及び健康・衛生問題、水資源問題などが挙げられます。企業として本業を通じて社会問題解決のための新製品及びサービスの創造が企業及び社会の活性化に繋がると思っています。本書は、社会問題解決やステークホルダーへの対応、CSR調達対応などを経営者層の視点でCSRを実践的に行うガイドをまとめたものです。本書は、ISO26000に準じたCSRマネジメントプロセスの全体像を述べ、マニュアル化した事例及びCSR課題に対する設問事例による実践的なCSRを紹介しています。

これでわかる
CSR！

実践CSR第一歩

～社会的責任の原点を
考えながら～

船田 浩 著

ISBN978-4-901710-12-1
C2234 ¥500E

本体価格500円

実践
CSR第一歩

CSRとは事業活動で発生する社会へのマイナス影響を抑制し、社会期向変化により生じる社会問題を解決する付加価値型製品・サービスを提供し、持続可能な社会に貢献することです。

イー・キュー・マネジメント技研 新書

第一章 企業の社会的責任CSRとは何か
第二章 CSR推進で取組む課題
第三章 CSR推進のポイント
第四章 CSR推進及びCSR成熟度向上の効果

さまざまな社会問題の解決、ステークホルダーへの対応に関する企業の社会的責任CSRは、持続可能な社會を支援するために幅広く求められています。社会問題では、地球温暖化、少子高齢化、世界的人口増、福祉社会、途上国の貧困及び健康・衛生問題、水資源問題などが挙げられます。ステークホルダーへの対応として従業員に対する人権や労働慣行に関する課題、顧客・消費者に関する課題、地域社会に関するコミュニケーションの企画及び開発に関する課題などに新たな取組みが必要となってきています。本書は、これらの行動をとる基本的なCSRを社会的責任の原点を考えながら学習し、CSRに取組む課題の主要点及び実践的なCSR推進のポイントも学習し、この結果、どのような効果が得られるかを確認していきたいと思えます。

申込み用紙

株式会社 イー・キュー・マネジメント技研 行

FAX : 042-732-2420

Email : info@eqml.co.jp

名称	申込み数	会社名・部門／住所／TEL	申込み者